

県民の皆さま、明けましておめでとうございませう。
平成28年の年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



昨年4月の知事選挙におきまして、2期8年の県政運営に多くの県民の

皆さまの評価をいただき、引き続き県政推進の重責を担わせていただくことになりました。本年も、「住んで良し」「働いて良し」「訪れて良し」の奈良県の実現に向け、県と市町村との連携・協働による県勢発展のための「奈良モデル」を推進し、本県独自の地方創生の実現に取り組んでいきたいと思っております。

「住んで良し」の奈良県を目指して

すべての県民の皆さまが、健やかで安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。そのため、地域の医療提供体制をさらに充実させます。南奈良医療総合センターが本年4月にオープンするほか、県立医科大学附属病院E病棟、県総合医療センターが順次完成する運びとなっております。

健康や福祉の分野では、まほろば健康パークや健康ステーション(橿原市、王寺町)に設置)が大変好評ですので、これらを拠点として

健康寿命を着実に延ばすことや、医療介護・生活支援サービス等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築などに取り組みます。また、道路、駅前広場、病院を一体的に整備するなど、暮らしやすくにぎわいのあるまちづくりに市町村と連携・協働して取り組みます。南部地域・東部地域では「紀伊半島大水害からの復旧・復興」から「地域振興」へとステージを移し、「頻繁に訪れてもらえる地域、住み続けられる地域」を目指します。

「働いて良し」の奈良県を創る

奈良県から若者が流出しないよう、また、女性や高齢者にも働く場が近くに多く見つけられるよう、「しごと」の場づくり」に全力で取り組みます。

そのためには、消費、生産、投資が県内で好循環することが重要です。本年も3つのリーディング産業と6つのチャレンジ産業分野の「産業興し」に積極的に取り組めます。4月には「なら食と農の魅力創造国際大学校」が開校します。食と農の振興や「奈良の木」のブランド化など農林業の新たな展開がとて楽しみます。

また、企業が立地しやすい環境づくりや企業誘致を引き続き積極的に進めます。

「訪れて良し」の奈良県へ

奈良の豊かな歴史・文化・自然は、世界的に見てもとてもユニークなものです。奈良の資源を活用して奈良訪問リピーターの増加を図ります。

1月末には平城宮跡で「大立山まつり」を初めて開催するほか、本年も奈良公園などで「ムジークフェスト」なら「奈良県大芸術祭」を開催します。首都圏や海外への観光プロモーションなどにも積極的に取り組み、たくさんの方の観光客で賑わう奈良をつくってまいります。

また、県営プール跡地にホテルを核としたにぎわいの空間の整備を進めるほか、「奈良県猿沢イン」での外国人観光客のおもてなし向上を図るなど、観光地奈良の玄関口とも言える大宮通り周辺をグレードアップするさまざまなお取り組みを進めます。

これからも、県民の皆さまのご意見やご提案にしっかりと耳を傾け、皆さまとともにより良い奈良の未来を築いていきたいと考えております。皆さまの「層」のお力添えを心からお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

奈良県知事

荒井正吾

